
Sinagoga Medieval de Castelo de Vide

について

カステロ・デウ・ヴィデ (Castelo de Vide) の中世のシナゴーク

カステロ・デウ・ヴィデの古代・中世のシナゴークであったと考えられている建物は、現在は博物館であり、街の最も象徴的なものの1つです。ルアーダ・ジュディアリア (Rua da Judiaria) とルアーダ・フォント (Rua da Fonte) の交差点に位置し、東西に向いています。

その日付については定かではありませんが、14世紀にユダヤ人地区が設立されたときまでさかのぼると想定されています。

複合施設は2つのフロアで構成されています。上層階の部屋の1つには、中央の礼拝スペースがあり、1970年代に発見されたHejalがあり、現在は展示順路の中心となっています。

ここにはコミュニティの男性が集まり、右側の別の部屋は女性メンバーのためのものでした。

2階に通じるドアにはメズーザー (Mezuzah) のマークが付いています。すべてのドアは16世紀以前の弓形です。

残りの部屋には、カステロ・デ・ヴィデ (Castelo de

Vide) のユダヤ人コミュニティの歴史に関する作品のコレクションが展示されています。

シナゴークの建物の修復、統合、強化作業にはいくつかの調査が必要であり、考古学的資料の収集が可能になりました。

建物が大きな変化を遂げたのは16世紀で、この時期はポルトガルでのユダヤ人の崇拝の自由の終焉と一致しました。

何世紀にもわたって変更され、適応されたシナゴークは、18世紀に住居になるための適応作業も受けました。

問い合わせ先

Rua da Judiaria, 7320-190 Castelo de Vide

電話: +351 245 908 220

Eメール: turismo@cm-castelo-vid.pt

ウェブサイト: <https://castelodevide.pt/2028/sinagoga>

バリアフリー案内